

## 第17回蒲田都市づくり推進会議(書面開催)にて頂いたご意見の要旨と区の考え方

### 【資料1】改定蒲田駅周辺地区グランドデザイン(素案)について

No.	意見要旨	区の考え方
1	素案の内容は、順当なものと言えよう。このような方向で街づくりが進展することを期待する。なお、地域住民等との連携や役割分担も期待されることが冒頭に示されていることから、より広い範囲での連携の強化と駅近傍の環境改善促進という両面に対する理解浸透を図ることが望ましい。	将来像実現に向けては、区民や事業者等と行政が連携した官民協働によるまちづくりが重要と考えます。連携強化の必要性等についてわかりやすく示したグランドデザインのパンフレットを作成して説明をするなど、理解を得てまいりたいと考えております。
2	蒲田エリアの進むべき理想の姿が多岐に渡って示されていると思う。現時点までに大きく改善の進んでいる課題、改善効果の低い課題や都市構造に起因した長期的な課題など様々であり、どの課題も重要な事であるが、成果を見込める課題を優先するなど効率を重視した取組を更に進めてもらうことを望む。	蒲田地区は、今なお多くの課題を抱えております。まちづくりを推進するにあたっては、取組に応じて短期・中期・長期の目標年次を設定するなどメリハリを持って進めてまいります。
3	全般的によく練られているが、総花的な感じがしないでもない。第6章まちづくりの取組(アクション)の中で、「当面の最重要課題」を抽出して、強調してもよいのではないかと。例えば、新空港線の整備、東西自由通路の整備、地下自転車駐車場の整備などに絞って明記しては。	新空港線は、区内外の移動利便性の向上とともに、蒲田地区をはじめ沿線まちづくり及び地域の活性化を進める上で大きな役割が期待される重要な施策であることから、第1章において事業の重要性を示してまいります。また、他の重要な取組については、4章で示してまいります。
4	全体としてはとても良いが、多国籍な住民が居住している街なので、災害時などのネットワーク作りも考慮して欲しい。	本地区における外国人人口や羽田空港の旅客数は増加傾向にあります。分野別方針9に示す災害に強いまちづくりに併せて分野別方針10示す誰もが使いやすい人にやさしいまちづくりに取り組むなど、ハード・ソフトの取組を推進し、誰にとっても安全なまちを目指してまいります。
5	産業・ビジネスの強化とあるが、具体的なイメージがないと、他の都市との差別化ができないのでは。例えば、2-1まちの特徴に、[業務]モノづくりのまちとあるが、この既存の産業を強化するのか、羽田空港の玄関としての立地を生かした新産業、新ビジネスを強化するのか、具体的なイメージについて関係者と話すことが大切である。	既存の産業を活かしつつも、立地を生かした新たな業務機能の誘導を図ってまいりたいと考えております。地域の方々や事業者等と話し合いながら取り組んでまいります。
6	2-2まちの課題に[商業]とあるが、[飲食・サービス業]も必要ではないか。飲食は、多彩な個店が集積し路面の面白さを作っているが、開発で失われようとしている。また、集会や待ち合わせができる施設を持ったシティーホテルがないことなどの課題がある。	2-2まちの特徴にも掲げておりますが、飲食・サービスを含む個性や活力ある個店等の集積は、他の都市にない独自の強みとなっておりますので、強みを活かしたまちづくりを進めてまいります。また、シティーホテルの誘導については、社会状況や市場動向を踏まえ検討してまいります。
7	18ページの川があるが、どこのエリアをイメージしているのか。呑川は羽田まで船で出ていくことができたこともあり、大事に遊歩道に取り入れることは大賛成である。また、蒲田は六郷用水の記憶があり、逆川はその記憶を繋いでいる。	イメージ図は、人々が多彩な活動を行い、まちににぎわいが生じていることを表現しておりますので、特定の視点から描いたものではありませんが、イメージ図の川は地区の資源である呑川を意識しております。
8	4章について、「都市機能集積エリア」と「新価値創造エリア」と分ける必要はないのでは。すべて「都市機能集積エリア」か「都市機能集積・新価値創造エリア」に統一したらどうか。	「新価値創造エリア」は「都市機能集積エリア」と土地利用等が異なっていることから、エリアを分けております。
9	4章 5-1,5-2の目標1について、「文化・交流・にぎわいを生み出す「活動」の創出」に「産業」を加える。	目標1のタイトルに「産業」という単語は入っておりませんが、目標を踏まえた分野別方針や取組においては、しっかり位置付けてまいります。

No.	意見要旨	区の考え方
10	7章JR蒲田北側通路の整備について、歩行だけでなく車椅子/自転車の利用も考えることが大切。現行グランドデザイン冊子の44ページにある連絡橋のイメージのような、道路の上に塞ぐ形で歩道橋を作るようなことは、影響を受ける建物の所有者の賛同は得られないだろう。	北側通路の整備に向けた関係者との検討においては、バリアフリーは基より、自転車の利用についても検討してまいります。また、現行グランドデザイン44ページにある連絡橋イメージ図はあくまで策定（平成22年）時に描いたイメージです。頂いたご意見は今後の検討の参考にさせていただきます。
11	蒲田駅東西の分断解消については、新空港線の取組としっかりと連携していくことを、広く周知してほしい。	JR・東急蒲田駅東西の分断解消に向けた東西自由通路の整備については、新空港線と連携を図るよう検討を進めるとともに、引き続き、両事業について広く周知してまいります。
12	P71駅前広場の機能向上に示されている、中長期整備を踏まえた望ましい面積や、P75の交通ネットワーク等については、検討の深度化や関係機関との協議により変更となる可能性があることを明記した方が良い。	誤解が生じないように、今度の検討において変更が生じる可能性がある旨を示してまいります。
13	日本工学院や誠心調理学校や佐伯栄養学校などがあり、若者が集う地域にもなりうる「学園都市」の側面を、もう少し強調してもよいのではないか。	教育機関が集積し、若者が集まっていることをまちの特徴として示してまいります。

#### 【資料2】パブリックコメントの実施について

No.	意見要旨	区の考え方
14	説明動画の配信は、限られた日時に参加できない方にとっては有効な手段であると思う。一定の効果が表れるようであれば、区民説明会と合わせて今後行うことを検討されても良いのではないかと。	今後も起こり得る感染症拡大や自然災害時においても、区民の皆様等への説明が徹底できるよう、動画配信などの手法を活用してまいります。
15	非常にわかりやすくとても良かったが、パブリックコメントの実施をもっと告知出来ればもっと良かった。	区報、区ホームページのほかSNSの活用やするなど周知に努めてまいりましたが、引き続き広く周知できるよう手法等を研究してまいります。
16	パブリックコメントの実施結果についても、広く周知すること。	パブリックコメントの実施結果については、区ホームページに掲載するなど周知してまいります。

#### 【資料3】蒲田駅東口地下自転車駐車場の都市計画変更について

No.	意見要旨	区の考え方
17	都市計画の変更については異論ないが、南出入口1、2については、その南側に位置する交差点に出入口の整備時に合わせて、新たに信号を設置して横断歩道を設けることが望ましい。また、出入口1、2について、入口専用、出口専用に分けることが安全面からは望ましい。	南出入口側の交差点に信号を設置することについては、「信号機設置の指針」（警視庁交通局通達）の一般的な設置条件に合わないことから設置は困難であると考えますが、南出入口1は入口専用、南出入口2は出口専用に分ける計画としており、安全面に配慮しております。
18	本体部の平面形状や出入部の形状は、改善に向けての変更であれば賛成だが、具体的な案が示されていないので、現時点では意見できない。	形状の変更は、現在の計画より安全性や快適性を高めるためのものです。今後の説明会等では、分かりやすい説明に努めてまいります。
19	区において中長期な基盤整備を検討しているが、蒲田駅東口地下自転車駐車場を含む、初動期整備との整合を図るとともに、適宜地域の方々と話し合いながら、検討・調整を進めること。	検討の進捗に応じて、地域の皆様に情報共有を図るとともに、ご意見を伺いながら、検討を進めてまいります。